

令和4年度新川地区大会壮行会 激励の言葉 (R4. 6. 7)

校長 高瀬 知郎

雄中生の皆さん、こんにちは。

新川地区大会本番まであと5日。いよいよ本番が迫ってきました。昨年度の新人大会以来の公式戦ですが、3年生にとっては上位の大会につながる最も重要な大会です。中学校入学以来、3年間がんばり続け鍛え上げてきた力を振り絞って、最高の結果を勝ち取ってきてください。その一つ一つの勝利が、雄山中学校全体の力となりエネルギーとなるのです。みなさんのがんばりで、この雄山中学校をますます盛り上げていってください。

この機会に、みなさんにお伝えしておきたいことがあります。

先日、新聞を読んでいて「ほんとにそのとおりだな…」と納得させられる言葉に出会いました。北陸銀行で11年間頭取を務められた高木繁雄さんという方が、講演会で話された内容の一部なのですが、「志以上の人生はなく、努力以上の成果はない」という言葉です。「志以上の人生はない」の「志」とは、心の指す方向、つまり人生の大きな目標のこと。「こうなりたい、こんな人になりたい」と願った以上のすばらしい人生に偶然なることなどあり得ないという意味でしょう。大会社の社長になりたい、学者になりたい、政治家になりたい、プロのスポーツ選手になりたい等々、人それぞれに夢があると思いますが、自分が願った以上の人生が転がり込んでくることはないのです。「努力以上の成果はない」もまた同じ。学業も部活動も、やっただけの結果しか出ません。努力した分が、そのまま結果となって出るのであります。そこに偶然はない。だからこそ、大きな成果を上げたいのなら、それを実現するだけの長期間にわたる大きな努力が必要なのです。

全国レベルの結果を残したいときは、1か月や2か月では間に合いません。それなりの結果を出したいときは、最低でも半年から1年、その目標にふさわしい努力を続けることが必要です。私は、毎日のグラウンドでの朝練を見てははっきりと理解しました。本校の駅伝部は3年計画で全国に通用する体を作り、あの高いレベルを保っているのだと。

人生でも学業でも部活動でも、大きな目標を実現させたいなら、できるだけ早く目標をはっきりともつこと。そして、その目標を実現させる努力を計画どおりに実行すること。

高木さんはこのように続けます。「努力がすべて報われるわけではないが、正しい努力に無駄はない。身に付けたものを、世のため人のために役立ててほしい」と。そう！みんなが勉強や部活動をがんばる理由は、自分を鍛え、世の中の役に立つ力を身に付けるためなのです。「未来の世の中を明るく幸せな世界にするため」、これからも勉強や部活動をがんばっていきましょう！試合もその修練の一つ。思いきりがんばってきてください。

各部の健闘をお祈りしています。